

**問** 公共交通機関のない服部、阿曾地区の住民は、循環バスの運行は難しいと思っているが、この地域を一つのブロックとして服部、足守駅へアクセスできればと期待している。循環バスの見直しは2年ぐらいかかるので、その間の継ぎとして乗合タクシーを試験的に運行できないか。また、乗合タクシーの計画はどこまで進んでいるのか。

**答** 循環バスは現在見直し、検討中であるが、乗合タクシーについては、各地区から要望もあるので、阿曾地区を中心ほどの程度のニーズがあるか調査し、タクシー会社に投げかけていきたい。高梁市玉川地区で空きタクシーを利用した乗合タクシーの制度ができているので、参考しながら、地元のニーズ、利用度を含め前向きに調査し検討させていただきたい。(竹内市長)

**問** 心身ともに健全な子どもを育てるには、家庭、学校、地域、さらに企業がともに協力し支え合いながら、自治体の環境整備と相まって知恵や力を出し合うことが重要である。そこで、人生の基礎をつくる幼児期の家庭への支援はどのようになっているか。そして、保護者が仕事などで家庭にいない小学校低学年の学童保育と展望はどうか。また、子どもの政策をトータル的に考える「子ども課」を設置する考えはないか。

**答** 基本的に「次世代育成総社つ子プラン」を推進し、子どもたちが育つ家庭を総合的に支援し、親子の交流ができる「つどいの広場」や育児相談事業の「ラッコの部屋」などに取り組み、既存の施設を児童館的に活用できるように工夫していきたいかなければと思っている。学童保育は、本年4月に8クラブとなり、今後も地域の要望をもとに環境支援として学区ごとに充実を図る。子ども課の設置は、複数の課で行なっている子育て支援施策を包括する部

署を設置し、わかりやすい組織機構に今検討している。(竹内市長)

**剣持 堅吾**

**問** 学校の教育と地域社会の連携強化による地域からの教育改革について

**答** 昨今の青少年を取り巻く状況は極めて多様化し凶悪事件が相次いでいるが、被害者がいつもかけがえのない子どもである。そこで、教育現場は青少年のニーズに応えられているのか。痛ましい事件に本気で取り組むことが地域全体の責務と考えるが、自治体としての対策を考えているのか。また、そのためには教育委員会行政の一部である生涯学習、文化、体育振興などを市長部局で対応する考えはないか。

**答** 教育現場は、日々子どもたちと真摯に向かい合いよりよい教育活動を模索し続けており、十分に伝えられてない面もあるが、青少年の実態、ニーズのあり方も含め、教育を追究していきたい。地域防犯マニ

ユアルの作成を検討し、関係機関が一丸となり子どもを守る体制づくりに早急に取り組む、不審者情報が共有できるシステム構築も検討する。文化振興、スポーツ振興の事務も含め、組織機構改革の中で検討したい。(栗田教育長、竹内市長)

**新市まちづくり計画の推進と実行について**

**問** まちづくり計画の策定に当たっては、10年間で計画されアンケートや懇談会を初め、多くの方々の理解や協力が必要である。そこで、長期ビジョンとなつている4地域の発展のためにプロジェクトチームを作る考えはないか。また、ケーブルテレビを平成21年までに98%普及すると答弁されたが、整備が整っている山手支所への早期接続と各地区の普及見通しと18年度はどこを拡大するのか。

**答** 新総合計画は、まちづくり計画の内容を尊重し各地域や各種団体、懇談会など市民の意見を反映させ、まちづくりの将来方向と計画に沿ってそれぞれの部署で事業を計画的に進めていきたい。ケーブルテレビは、補助率なども含め整備方針を定め、事業の採算性や地元の加入率で総合的に判断したい。山手支所への接続は、山手地区独自の事情もあり事業者と協議して進めたい。18年度の整備は、ケーブルの方針と加入協議が調う地域がポイントになる。(竹内市長)



設備が整い接続が待たれる山手支所

根馬 和子

子どもの健全育成について